

**弊社SRI業務に関して、新聞紙上において以下のように紹介されております。**

2006年6月24日（土）読売新聞 18面

**仕事と人生 豊かさ再発見 調査会社社長 秋山 をねさん**

「売り手に良し、買い手に良し、世間に良し、という近江商人の『三方良し』の投資版を作って、世の中を良くしたい」 株式投資の世界に「会社の誠実さ」を物差しにした「社会責任投資」（SRI）という考え方を広めようと、2001年、調査会社「[インテグレックス](#)」（東京・渋谷区）を設立した。率いる社員は7人。全員、証券業界からの転職組だ。自身は、百数十億円もの大金を動かすヘッジファンドのトレーダーからの転身。「金がすべて」という業界の価値観に疑問が募った時、SRIを知った。「誠実さが評価の基準となるお金の流れを作れないか」。子供を持ったことで、「子供たちに、住みやすい社会という財産を残したい」とも思い、独立した。食品の表示偽装など、消費者を裏切る企業の不祥事は後を絶たない。一方で、上場企業約3900社に独自の調査票を送って、回答を分析し、経営者にインタビューを重ねると、法律を守り、消費者や社員、環境を大切にする会社がたくさんあることも分かった。調査結果から各企業の「誠実さ」を点数化、ランク付けする。その情報を投資信託会社などに提供して、アドバイスしている。「利益ばかりを求め、社会とのかかわりを否定する企業は淘汰される」と思っている。ライブドア、村上ファンドと、株絡みの事件が続く。だからこそ、「SRIの重要性を改めて実感している」。